

TWS-NEXT @tobikan 「上野のクロヒヨウ」

2015年2月19日(木)～3月7日(土)
東京都美術館 ギャラリーB

——次世代を担う、注目の若手アーティストの作品が集結！

2001年の開館以来、トーキョーワンダーサイト(TWS)は、若手アーティストの発掘、育成、支援を行ってきました。「TWS-NEXT」は、「TWS-Emerging」やレジデンス・プログラムなど、TWSの事業に参加した若手アーティストを継続的に支援するプログラムです。

本展では、リサーチをもとに作品制作を行う若手アーティストに注目。東京都美術館がある上野の歴史に焦点を当て、4組のアーティストが新作を発表します。そのテーマとなるのが、「二・二六事件」、「阿部定事件」と並び、昭和11(1936)年の三大事件の一つである「上野動物園クロヒヨウ脱出事件」です。

歴史は一つの事象でありながら、人の認識を通して様々な解釈が加えられ、記憶されていきます。アーティストの作品が歴史に新たな視点を加えることは、図らずも歴史を伝えることの曖昧さ・危うさを提示するといえるのではないのでしょうか。

TWSのプログラムを経て、活躍の場を広げる次世代のアーティストの作品にご期待ください。

■ 展覧会概要

展覧会名	TWS-NEXT @tobikan 「上野のクロヒヨウ」
会期	2月19日(木)～3月7日(土)
会場	東京都美術館 ギャラリーB (東京都台東区上野公園 8-36)
開室時間	9:30～17:30 (入室は閉室の30分前まで) * 金曜日は20:00まで開室
休室日	3月2日(月)
入場料	無料
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
協力	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
アーティスト	市川紗也子、オル太、佐藤未来、平川 正
ウェブサイト	http://www.tokyo-ws.org

< お問い合わせ > 〒130-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内
公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
広報担当：市川、石川
TEL: 03-5602-9881 E-mail: press@tokyo-ws.org

■ 関連イベント

◎アーティスト・トーク

日時 2月21日(土) 15:00~17:00

会場 東京都美術館ギャラリーB (本展会場)

■ 展覧会のみどころ

注目の若手アーティストが本展のために新作を発表！

国内外でサイトスペシフィックなプロジェクトを展開している佐藤未来は、社会に対する無関心さや、そこから引き起こる問題に目を向け、クロヒヨウの捕獲を想起させる映像インスタレーションを発表します。

また、これまで自刻像やクラゲをモチーフに木彫作品を制作してきた平川 正は、歴史という新たなテーマに挑戦。一本の丸太から“肖像彫刻”を彫り出し、クロヒヨウが脱出した先に求めたであろう故郷の美しい風景を描きます。

「クロヒヨウ脱出事件」を軸に、日本の歴史を新たな視点から捉えます

市川紗也子は、かつて上野にあった花街の遊女とクロヒヨウを重ね合わせ、恐怖心をテーマに刺繍を用いた作品を制作。クロヒヨウの体内から内臓が飛び出すように展開される作品は、まるで絵本の物語のように現実と虚構を交錯させます。

オル太は、昭和初期に各地で造られた建物を巡る映像作品とともに、同時代に生きた画家、鬘光の《眼のある風景》(1938)をモチーフにしたインスタレーションを発表します。“歴史の復元性”をテーマに、クロヒヨウ脱出事件と日本の歴史を重ね合わせます。



オル太 《Tiger Alive?》2014 (出展作品)

■ 出展作家

市川紗也子 | Sayako Ichikawa

1977 年生まれ。東京藝術大学大学院油画科油画専攻修了。刺繍やパッチワークを用いて、恐怖や快樂といった人間の内的世界を表現している。

主な展覧会に「SUN SUN BOATCABIN vol.5」(LwP 浅草、東京、2014)、「かろうじて生きている」(TWS 本郷、東京、2013)、「トーキョーワンダーウォール都庁 2012」(東京都庁第一本庁舎、東京、2013)、「声も出ない」(unseal contemporary、東京、2011)などがある。「トーキョーワンダーウォール公募 2012」平面作品部門にてトーキョーワンダーウォール賞受賞。



オル太 | OLTA

1980 年代生まれ、多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻出身の 7 人から成る表現集団。メンバーは、井上 徹、梅田豪介、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang-Chi。

平成 24 年度 TWS 国内クリエイター制作交流プログラム、平成 25 年度 TWS 二国間交流事業プログラム(ベルリン)参加。主な展覧会に「GHOST OF MODERN」(クストラウム・クロイツベルク / ベタニエン、ベルリン、2013-2014)、「内臓感覚ー遠くて近い生ノ声」(金沢 21 世紀美術館、石川、2013)、「つちくれの精霊」(KAAT 神奈川芸術劇場アトリウム、神奈川、2011)などがある。「第 14 回岡本太郎現代芸術賞」にて岡本太郎賞受賞(2011)。



佐藤未来 | Miku Sato

1985 年生まれ。2009 年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。その場所が持つ環境や歴史、人々、文化などの地域性を活かした、サイトスペシフィックなプロジェクトを展開している。

平成 25 年度 TWS 二国間交流事業プログラム(マドリッド)参加。主な展覧会に「Green River Project」(淡水歴史博物館、新台北、台湾、2014)、「トーキョー・ストーリー 2014」(TWS 本郷、東京、2014)、「Seoksu Art Project 2011」(Stone & Water、安養、韓国、2011)などがある。



平川 正 | Tadashi Hirakawa

1980 年生まれ。2004 年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。自刻像やクラゲをモチーフに彫刻作品を制作している。

主な展覧会に「彫刻」(武蔵野美術大学 g-fal、東京、2013)、「永遠に新しい朝」(TWS 本郷、東京、2013)、「トーキョーワンダーウォール都庁 2012」(東京都庁第二本庁舎、東京、2013)、「中之条ビエンナーレ」(群馬県吾妻郡中之条町、2009)などがある。「トーキョーワンダーウォール公募 2012」立体・インスタレーション作品部門にて大賞受賞。



広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

市川紗也子



《家出》2014
プリント生地、刺繍糸

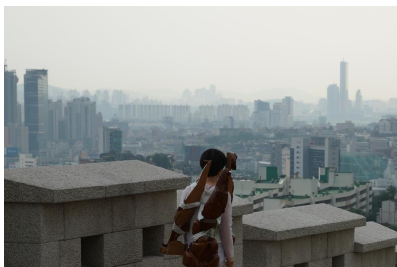


《森に帰りたい》2014
プリント生地、刺繍糸



《どなたか知りませんか?》2013
プリント生地、刺繍糸

オル太



《Tiger Alive?》2014



《オルガネラ》2013



《GHOST OF MODERN》2013-2014

佐藤未来



《Soup (台湾-日本)》2014
ビデオ、台湾の川の水、日本の川の水、机、お椀



《Two Lights Welcome You》2013
横浜に移住してきた人が故郷から持ってきたアイテム、ライト、モーター 他



《Yellow Town》2009
群馬県吾妻郡中之条町を故郷とする人々で行ったプロジェクト

平川 正



《クラゲ》2013 木



《永遠に新しい朝》2013 木



《暗闇の訪れ》2013 木